

## 2026年度普及啓発事業について

### 1 交流セミナーの開催

県民の手話言語・障害者コミュニケーション条例への理解と関心を深めるため、2022年度から交流セミナーを継続して開催しており、2026年度も引き続き実施することを考えている。

#### 【事業内容の検討】

- これまで交流セミナーは、施設内のホールを開催場所として実施してきた。
- 2025年度は、より多くの県民へ広く普及啓発を行うことも重要であると考え、トークショーに加え来場者参加型のプログラムを実施することで、県民が障害の特性に応じたコミュニケーション手段に直接触れることのできる機会を作ることとした。
- 2026年度の交流セミナーは、2025年度と同様の内容（トークショー、体験コーナー、啓発パネルの設置）を実施予定。

### 2 コミュニケーション支援アプリの運用

- 2020年度の開発以降、継続してアプリの改修を行っており、概ね必要と思われる項目等の改修は実施できたため、ユーザーの意見を踏まえた調整（改修）を実施する段階に移行したと考えている。
- 2026年度は、愛知県聴覚障害者協会や愛知県難聴・中途失聴者協会などの当事者団体の皆様へ協力を依頼し、ユーザーの意見を踏まえた改修を検討したい。

### 3 避難所小冊子及びコミュニケーション条例リーフレットの増刷

- 今年度作成する避難所小冊子を関係施設や関係機関等へ配布するため、増刷を行う。
- 研修や講座等で配布、活用する「手話言語・障害者コミュニケーション条例」リーフレットの増刷を行う。

#### 【参考】これまでの普及啓発事業

- 2016年10月：手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定
- 2016年度：条例説明リーフレット・ポスター作成及びシンポジウムの開催
- 2017年度：子ども向け普及啓発ワークシートの作成及び条例PRイベントの開催
- 2018年度：企業向けリーフレット及び障害者理解促進イベントの開催
- 2019年度：市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催
- 2020年度：コミュニケーション支援アプリ開発・普及
- 2021年度：企業向け小冊子作成・配布及びシンポジウムの開催、コミュニケーション支援アプリ運用
- 2022年度：条例説明リーフレットの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用
- 2023年度：コミュニケーション支援アプリ説明チラシの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用
- 2024年度：交流セミナーの開催、市町村職員向けコミュニケーションセミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用
- 2025年度：交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用、避難所小冊子の作成・配布